

[9] 西都市小体連のあゆみ

I 年間事業

実施日	曜	事業名	主な内容	会場
4月30日	木	第1回 体育主任会	役員選出 主題研究の推進	妻北小学校
5月26日	火	第2回 体育主任会	主題研究の推進 水泳大会の概要確認	妻南小学校
6月22日	月	第3回 体育主任会	主題研究の推進 水泳大会の運営確認	妻南小学校
7月22日	水	水泳大会前日準備	水泳大会会場設営 選手名簿作成	妻南小学校
7月23日	木	水泳大会	水泳大会運営 片付け	妻南小学校
9月1日	火	第4回 体育主任会	水泳大会反省 陸上記録会概要確認	妻南小学校
10月5日	月	第5回 体育主任会	主題研究の推進 陸上記録会運営確認	妻南小学校
10月29日	木	陸上記録会前日準備	陸上記録会会場設営 運営確認	西都市陸上競技場
10月30日	金	陸上記録会	陸上記録会運営 片付け	西都市陸上競技場
11月17日	火	第6回 体育主任会	研究授業 授業研究 研究のまとめ	三財小中学校
2月2日	火	第7回 体育主任会	次年度への引継確認	妻南小学校

II 事業部のあゆみ

1 水泳大会

- (1) 目的 西都市内の小学生を対象とした「水泳大会」を実施することにより、児童の水泳の技能を高めるとともに児童相互の親睦を図り、学校体育の振興に寄与する。
- (2) 日時 平成27年7月23日(木) 8:30～12:00(小雨決行)
- (3) 会場 西都市立妻南小学校 屋外プール
- (4) 参加者 市内の小学校に在籍する5・6年生の児童(保護者の承諾を受け健康診断で異常のない児童)
- (5) 競技種目 クロール(25m、50m)・平泳ぎ(25m、50m)・100mリレー
- (6) 日程

時刻	内容	備考
8:00	各学校 8:00 までに児童の出席状況を把握し、体育館ステージ前にいる担当へ報告する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合場所体育館、確認後更衣!</li> <li>・体育館壁面に学校名の紙を貼る。</li> <li>・欠席者、選手変更、オーダーの確認</li> <li>・役員顔合わせ、打ち合わせをする。</li> </ul>
8:10 8:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 着替え→プールで体操・シャワー・25m泳ぐ</li> <li>○ 児童管理以外の係打合せ(各役員)→本部席前</li> </ul>	
8:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水慣れ後に整列</li> </ul> 8:25 までには集合整列できるようにする。	・プールサイドに移動する。
8:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開会式                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 一同礼</li> <li>2 大会会長のあいさつ</li> <li>3 教育長あいさつ</li> <li>4 競技上の注意</li> <li>5 選手宣誓</li> <li>6 一同礼</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 式が始まる5分前までに児童の整列を完了させておく。</li> <li>・ 式の間は水泳帽・ゴーグル・タオル・体育服等は身につけさせないこと。</li> <li>※ 体育着(上)を脱いだ状態で待機</li> </ul>
8:40 9:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備運動</li> <li>○ 競技                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 25m クロール</li> <li>② 25m 平泳ぎ</li> </ol>                             ※ 25m 競技の記録放送・熱中症対策入水                             <ol style="list-style-type: none"> <li>③ 50m クロール</li> <li>④ 50m 平泳ぎ</li> </ol>                             ※ 50m 競技の記録放送と小プールでのリレー選手の水慣れ                             <ol style="list-style-type: none"> <li>⑤ 100m リレー</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種目とも次の順で行う。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 5年女子</li> <li>② 5年男子</li> <li>③ 6年女子</li> <li>④ 6年男子</li> </ol> </li> </ul>
10:35 11:00 11:15 11:20		

11:30	○ 閉会式 進行 1 一同礼 2 新記録表彰 3 講評	
11:40	4 一同礼	

## 2 陸上記録会

- (1) 目的 西都市内の小学生を対象とした「陸上記録会」を実施することにより、各種の陸上運動の能力を高めるとともに、学校の枠を超えた児童の親睦を図る。
- (2) 日時 平成 27 年 10 月 30 日 (金) 9:30 ~ 15:30 (会場集合は 9:00 まで)
- (3) 会場 西都原運動公園陸上競技場
- (4) 参加者 西都市内の小学校に在学する 6 年生の児童  
※ 小体連の承認がある場合はリレーの補充として 5 年生の参加を認める。  
ただし、個人種目については記録証のみを授与する。
- (5) 競技種目 走 (100m,200m,800m,1000m,80m ハードル,400m リレー)  
走り幅跳び・走り高跳び・ソフトボール投げ
- (6) 日程

時刻	内容		備考				
9:00~ 9:15	※ 9時まではリレーの練習をしておく。(白線を消さないように注意) ○ 係打ち合わせ・・・決勝審判は陸連とそれ以外は係ごとで行う。 ○ 選手名簿で出欠の確認		・引率職員はリレーのコースで指導 ・大会役員は本部席前に集合。				
9:15~ 9:25	○ 児童の移動・集合・整列(事業部長) ・遅くとも 9:25 には集合整列できるよう、児童管理は児童に指示する。理事長は、入場の仕方を全体指導する。		・グラウンド北側トラックに移動し、迅速に整列する。				
9:30	○ 開会式 ① 選手入場 ② 開式のことば (理事長) ③ 国旗・市旗・小体連旗掲揚 (妻北小児童) ④ 大会会長あいさつ (会長) ⑤ 来賓あいさつ (教育長) ⑥ 競技上の注意 (事業部長)		・全学校帽子(白)を着用して式に臨む。 ・⑦⑧のマイク移動は事業部長が行う。 ・ラジオ体操では、8番目の運動でイチ・ニ・・・と元気よく声を出す。				
9:55	⑦ 選手宣誓 (茶白原小:田中 <sup>たなか</sup> 翔 <sup>しょうた</sup> 大) ⑧ ラジオ体操 (三財小:肥田木 <sup>ひだき</sup> あおい 碧)						
10:05	○ 競技						
	トラック種目		フィールド種目				
	順	部	競技種目	順	部	競技種目	
	1	特選	男子 200m 走	1	特選	男子	走り幅跳び
	2	一般	女子 100m 走				走り高跳び
	3	特選	男子 1000m 走				ソフトボール投げ
	4	特選	女子 800m 走	2	特選	女子	走り幅跳び
	5	特選	女子 200m 走				走り高跳び
	6	一般	男子 100m 走				ソフトボール投げ
13:15 14:00	昼食(12:00~12:45)						
15:00	7	表現	子ども臼太鼓踊り (天候によっては中止になる場合があります)				
	8	特選	男女	80mハードル			
	9	特選	女子	400mリレー			
	10	特選	男子	400mリレー			
15:10	○ 閉会式 (放送・・・閉会式のはじまり→一同礼)						
	①	新記録表彰	(会長)				
	②	校長会長あいさつ	(代表校長)				
	③	国旗・市旗・小体連旗降納	(妻南小児童)				
15:30	④	閉式のことば	(理事長)				
			・全学校帽子(白)を着用して式に臨む。 ・①は新記録が出た場合のみ行う。 ※リレー失格の場合は各審判員から本部(理事長→会長→放送)へ連絡し順位等の判断をする。				

### Ⅲ 研究部のあゆみ

#### 1 研究主題並びに副題

##### 研究主題

運動の楽しさや喜びを味わい、進んで運動に取り組む体育学習を目指して

##### 副題

器械・器具を使つての運動の実践を通して

西都市小体連では、平成22年度から3カ年にわたって、西都市で新たに年間指導計画に加えられたソフトバレーボールの研究に取り組んできた。その成果として、単元構成の工夫により、技能の向上の欲求と仲間との協力欲求、競争欲求を満たすことができたこと、児童の実態に応じた易しいゲームを適宜取り入れたことにより、自発的な活動を促すことにつながったことなどが挙げられる。課題として、様々な単元で楽しさや喜びを感じさせることが運動への親しみにつながるので、他の単元においても運動の楽しさや喜びを味わわせる必要があること、ゲーム・ボール運動の実践例を西都市内の各校の先生方に紹介していく必要があることが挙がってきた。そこで、平成25年度は、西都市小体連を中核として、西都市内の先生方にゲーム・ボール運動の優れた実践等を体育実技研修等で紹介し、授業力向上及び授業での積極的活用を促すこと授業の充実を図ることができた。昨年度は、西都市の教師へのアンケートの結果、課題として挙げられた「器械運動系」領域について、優れた実践等を各学校の体育実技研修等で紹介した。本年度は、さらに研究授業を通して実践的に「器械運動系」領域について研究主題に迫るとともに、西都市内の先生方に実践等を紹介し実際の体育の授業に役立ててもらふことにした。

#### 2 研究の仮説

「器械運動系」領域の学習について、研究授業や西都市内の先生方に実践例を紹介するなどの研修等を行うとともに、「器械運動系」領域の授業実践を図れば、児童が運動の楽しさや喜びを味わうことができ、進んで運動に取り組む児童を育成することができるであろう。

#### 3 研究の内容

- (1) 「器械運動系」領域の研究授業による実践的研究
- (2) 「器械運動系」領域の実践等を先生方に紹介する資料提示・研修会等の工夫
- (3) 「器械運動系」領域の運動の実践の集約

#### 4 研究の実際

生涯にわたって運動に親しむ児童の資質や能力の基礎を育てるために、体育の授業を充実させるには、我々教員がすぐれた指導資料及び研修等を通して授業実践に生かしていくことが重要である。このことを踏まえて、文部科学省からは、学習指導要領解説体育編の内容について具体的に授業作りのポイントがイメージできる「小学校体育まるわかりハンドブック」等の指導書が各学校に配布されている。そのほかにも、授業実践に生かせるすぐれた指導書は数多く存在している。

そこで、西都市体育主任が中心となって、授業で活用できる資料や実践等を各学校で先生方に紹介し、授業で生かしてもらふことで、児童の運動の楽しさや喜びを味わえるような授業実践につながるのではないかと考えた。本年度は「学校体育実技指導資料第10集『器械運動指導の手引』」を参考に研究授業を行うとともに、研修会の充実を通して先生方に紹介することで、本主題に迫ることにした。

##### (1) 「器械運動系」領域の研究授業による実践的研究

単元 器械運動（マット運動） 第4学年  
授業者 西都市立三財小中学校 釘村 彰吾

「学校体育実技指導資料第10集『器械運動指導の手引』」では、次のことが重要視されている。

- 器械運動の技に関連する感覚づくりの運動を単元の前半に取り入れる活動を行い、より多くの児童が安心してマット運動に取り組むことができる学習計画が望ましいこと。
- 児童が基本的な技を身に付けるためには、一人一人が課題を明確にして活動に取り組むことが大切であること。

- 課題を解決するための手立ての一つとして、グループを組み、友達と見合い教え合う活動を取り入れ、学習を進めていくこと。励まし合い、助け合って学習に取り組むことで、達成する喜びを友達と共有できるような学習にすること。

そこで、研究授業では、上記の内容を踏まえ、「つかむ」段階で、補強運動として毎時間行う運動遊びのメニューをすることによって、本時学習のめあてである後転につながる運動感覚を養った。また、iPadで技のポイントを確認することで、児童が目標を設定し、本時のねらいである「自分で目標を決めて、さらにレベルアップさせよう」へと導くことができた。「深める」段階では、グループやいくつかの練習場所での練習時間を設定し、その中で児童同士が教え合いながら練習ができるようにした。技のポイントカードを準備することで、教え合いがより具体的にすることができた。「まとめる」段階では、自分の設定した目標が達成できたのか評価カードに記入をし、授業の振り返りができるようにした。



【マット運動の授業の様子】

- (2) 「器械運動系」領域の実践等を先生方に紹介する資料提示・研修会等の工夫

以下の形式に従って体育主任を中心に指導資料の提示や研修等を実施することで、先生方に体育の指導資料を周知させ、授業に生かしてもらうことにした。

【資料提示・研修会等の工夫に関する報告書】

研修内容				
学校名		研修等の期日		研修等の時間
研修等の実際				
研修後の先生方の授業実践例	学年			
	単元名			
	授業の主な内容			
成果と課題				

- (3) 「器械運動系」領域の運動の実践の集約

西都市内各小学校の実践報告会を3学期の体育主任会で実施し、各学校の報告を本年度の体育主任会研究紀要にまとめる予定である。

5 研究の成果と課題

- (1) 成果

- 「学校体育実技指導資料第10集『器械運動指導の手引』」を参考に、マット運動（後転）の実践的な授業研究を行うことにより、授業の充実を図ることができた。

- (2) 課題

- 体育の授業に生かせる指導法を体育主任会が中心となって各小学校で、継続的・計画的に研修会を実践し、情報の共有化を図っていく必要がある。